

アフリカ安保理理事国首脳等との会合 【安倍総理冒頭発言】

2017 年 9 月 18 日

- アフリカの安保理理事国であるエチオピア、セネガル、来年から理事国となるコートジボワール、赤道ギニア、そしてAU議長国のギニアの指導者の皆様、お集まり頂き有難うございます。
- 皆様とは、TICADや二国間訪問の機会に、アジアとアフリカを含む国際社会の平和と安定につき意見交換を行ってきました。本日、両地域の喫緊の課題を議論できることを嬉しく思います。
- まず、アフリカにおいて我が国は、5年以上に及ぶ南スーダンへの施設部隊派遣やPKO訓練センター支援、職業訓練支援を通じ、アフリカの平和と安定を支えてきました。昨年8月のTICADVIでは、平和の基礎となる社会の安定化や制度構築に向け、我々が取るべき措置をナイロビ宣言とその実施計画にまとめました。
- 我が国は、2016年以降、1万6千人以上への職業訓練を含む、約233億円の社会安定化の取組を実施しています。
- 我が国は、仲介や平和支援活動、制度構築等の様々な分野におけるAUの活動を、アフリカのオーナーシップの表れとして高く評価しています。引き続き、こうしたAUの努力を支援してまいります。
- 次に、アジアにおいて、北朝鮮が核実験を強行し、弾道ミサイルの発射により挑発行動を続けていることは、国際社会の平和と安全にとり、これまでにない重大かつ差し迫った脅威です。
- 北朝鮮の政策を変えさせるため、従来にない新たな段階の圧力をかける必要があります。先般、北朝鮮籍の海外労働者に対する労働許可発給禁止等の追加制裁を含む安保理決議第2375号が採択されました。採択に向けたアフリカ安保理理事国の協力に感謝します。
- アフリカにおいては、北朝鮮との間で独立時からの歴史的関係を有する国も多いと承知しますが、各国とも、軍事協力を断絶し、輸出入規制や人的往来の制限の強化等を検討願います。
- AU加盟国が関連決議を完全に履行し、制裁の抜け穴が生まれないよ

う、コンデAU議長には、引き続きリーダーシップを発揮願います。

- 第三に、国際社会の平和と安定に日本とアフリカがより積極的に貢献するためにも、安保理改革は急務です。日本は、自らの常任理事国入りへの支持をお願いするだけでなく、「歴史的不正義」を是正し、2023年までにアフリカから常任理事国を出すというアフリカの夢を、全力で支持します。
- アフリカの平和と安定、北朝鮮情勢、安保理改革といった課題につき、率直な意見を伺えれば幸いです。